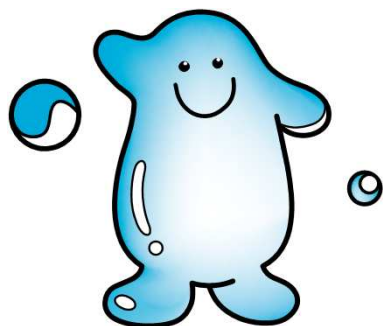


平成27年度 水道事業会計決算の概要



ウォッピー

札幌市水道局公式キャラクター

平成29年（2017年）1月
札幌市水道局

目 次

1	公営企業会計について	P 1
2	決算のポイント	P 4
3	平成27年度決算の姿	P 6
4	主要事業	P 10
5	経営課題	P 13

1 公営企業会計について

○地方公営企業とは

- ・地方公共団体が、住民の福祉の増進を目的として設置し、経営する企業。
- ・地方公営企業は、提供するサービスの対価である料金収入により維持される。
- ・札幌市では、水道・病院・中央卸売市場・軌道・高速電車・下水道の6事業が該当。

【公営企業会計の主な特色～一般の官公庁会計との違い～】

①現金主義ではなく、発生主義である。

現金の収支にかかわらず経済活動の発生事実に基づき整理される。

②期間計算（費用配分）の考え方がある。

その年度の収益の獲得につながったと考えられる部分だけがその年度の費用として整理される。

③損益計算と資本取引の区分がある。

1年間の経営成績を表す収益的収支、施設の建設・改良等の事業費とその財源を表す資本的収支の2つの収支がある。

④資産、負債及び資本の概念がある。

「資産」は資金の運用形態を示し、「負債及び資本」は資金の調達方法等を示す。※資産＝負債＋資本

⑤予算及び決算の双方を重視する。

歳出の規制だけではなく、経済性の発揮が求められている。

・・・など

1 公営企業会計について

○収益的収支と資本的収支

■収益的収支

- ・ **1年間の企業の経営活動に伴い、発生する収益と費用を表したもの。**
 - 施設の運転・管理等、事業を運営するための費用とその財源。
 - 当年度の収益と費用を表す（黒字・赤字）

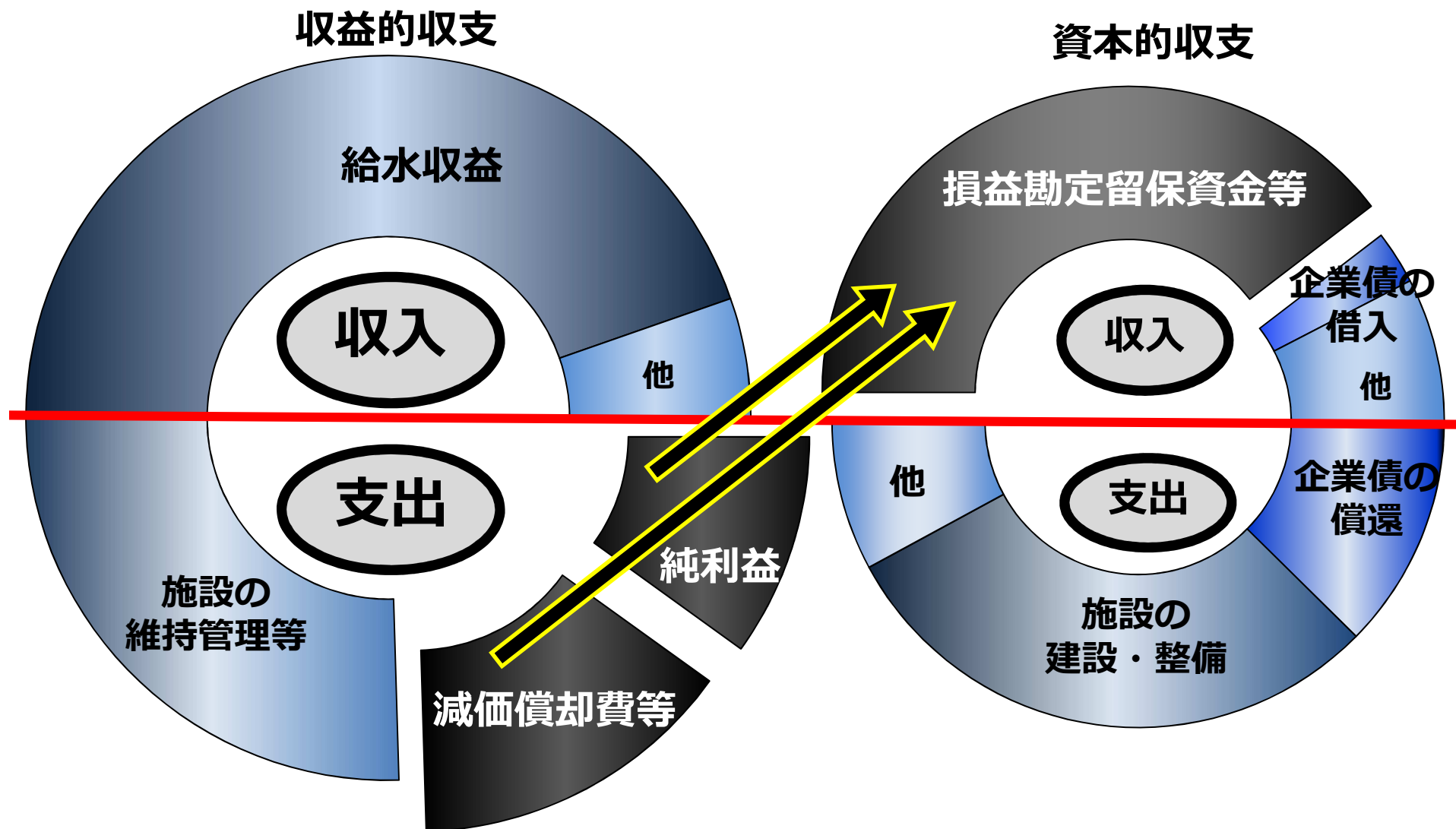
■資本的収支

- ・ **施設の建設など支出の効果が次年度以降に及ぶものや、企業債の元金償還などの支出とその財源となる収入を表したもの。**
 - 施設を建設・整備するための支出と企業債の借入などの財源。
 - 翌年度以降の収益的収支に影響

○公営企業会計においては、資本的収支の収入が支出に対し不足するため、収益的収支からの損益勘定留保資金（減価償却費等）や利益で補てん（穴埋め）することが一般的。

1 公営企業会計について

○収益的収支と資本的収支の関係 イメージ図



2 決算のポイント

収入支出の概要

○収益的収支と主な増減理由

- ・ 収入～給水収益の減少（有収水量の減少等による減）【▲3億円】
- ・ 支出～運営管理費の減少（請負工事費・委託料などの減少等による減）【▲29億円】

(消費税込、単位:億円)

区 分	平成27予算	平成27決算	増減	増減率
収益的収入 A	454	451	▲ 4	▲ 0.8%
収益的支出 B	361	333	▲ 29	▲ 7.9%
差引(純利益) A-B	93	118	25	26.8%

※ 各項目ごとに四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

○資本的収支と主な増減理由

- ・ 収入～企業債借入の減少（建設改良費の減少に伴う借入抑制による減）【▲20億円】
- ・ 支出～建設改良費の減少（施設整備事業費等の減少による減）【▲27億円】

(消費税込、単位:億円)

区 分	平成27予算	平成27決算	増減	増減率
資本的収入 A	95	64	▲ 31	▲32.9%
資本的支出 B	322	295	▲ 27	▲ 8.5%
差引(収支不足) A-B	▲ 227	▲ 231	▲ 4	▲ 1.8%

※ 各項目ごとに四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

2 決算のポイント

資金残高

○収益的収支・資本的収支と過年度分内部留保資金を踏まえた資金残高

- ・収益的収支差引118億円、資本的収支差引▲231億円、当年度分損益勘定留保資金103億円、前年度からの繰越金である過年度分内部留保資金150億円を加えると、平成27年度末の資金残高は140億円となり、予算に対して21億円好転した。

(消費税込、単位:億円)

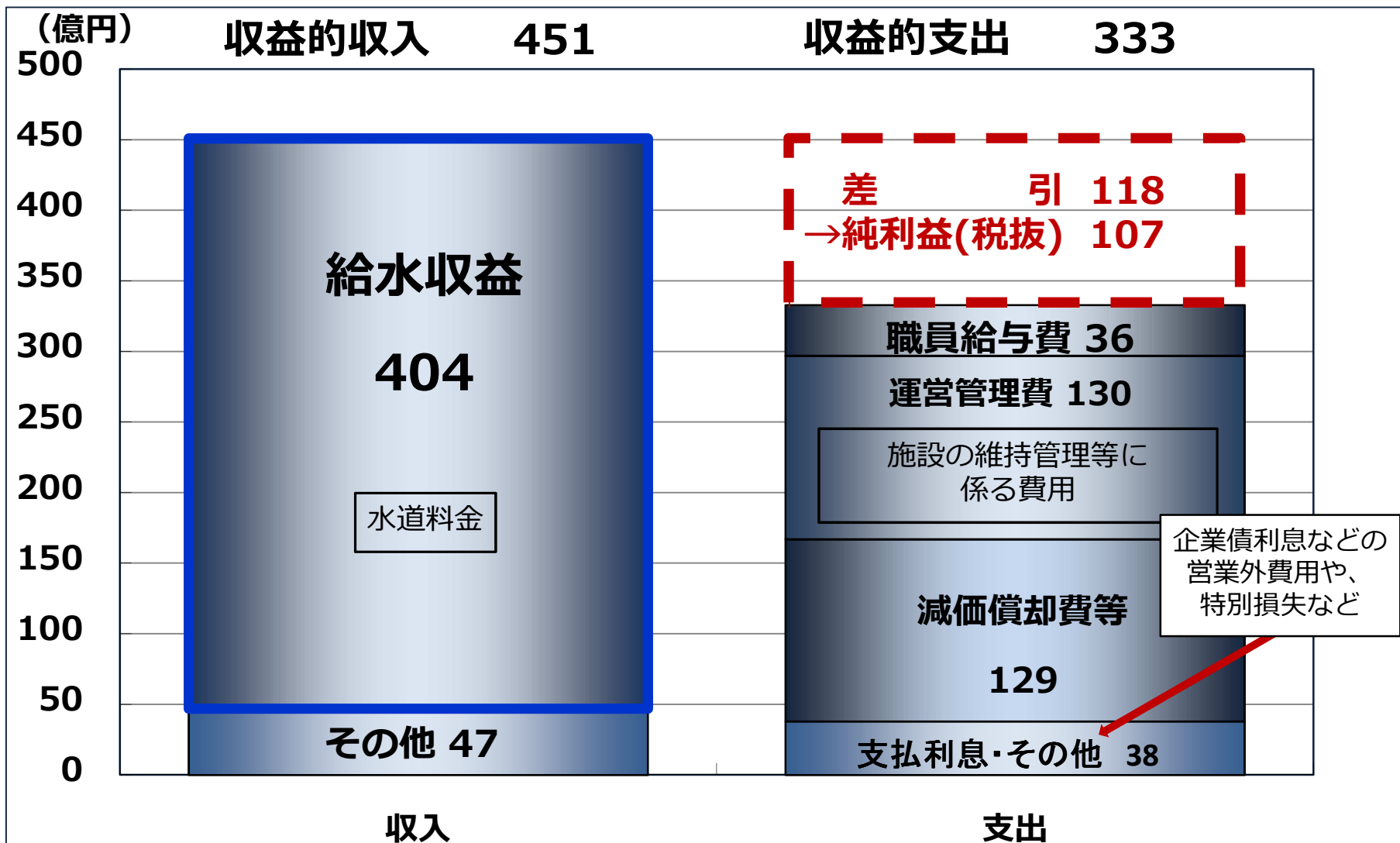
区 分	平成27予算	平成27決算	増減	増減率
収益的収支差引 A	93	118	25	26.8%
資本的収支差引 B	▲227	▲231	▲4	▲1.8%
当年度分 損益勘定留保資金等 C	103	103	▲0	▲0.2%
計 D=A+B+C	▲31	▲10	21	68.1%
過年度分 内部留保資金 E	150	150	0	0%
合計(資金残高) D+E	120	140	21	17.4%

※ 平成27予算は平成26決算置換後の額である。

※ 各項目ごとに四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

3 平成27年度決算の姿

収益的収支（消費税込）



3 平成27年度決算の姿

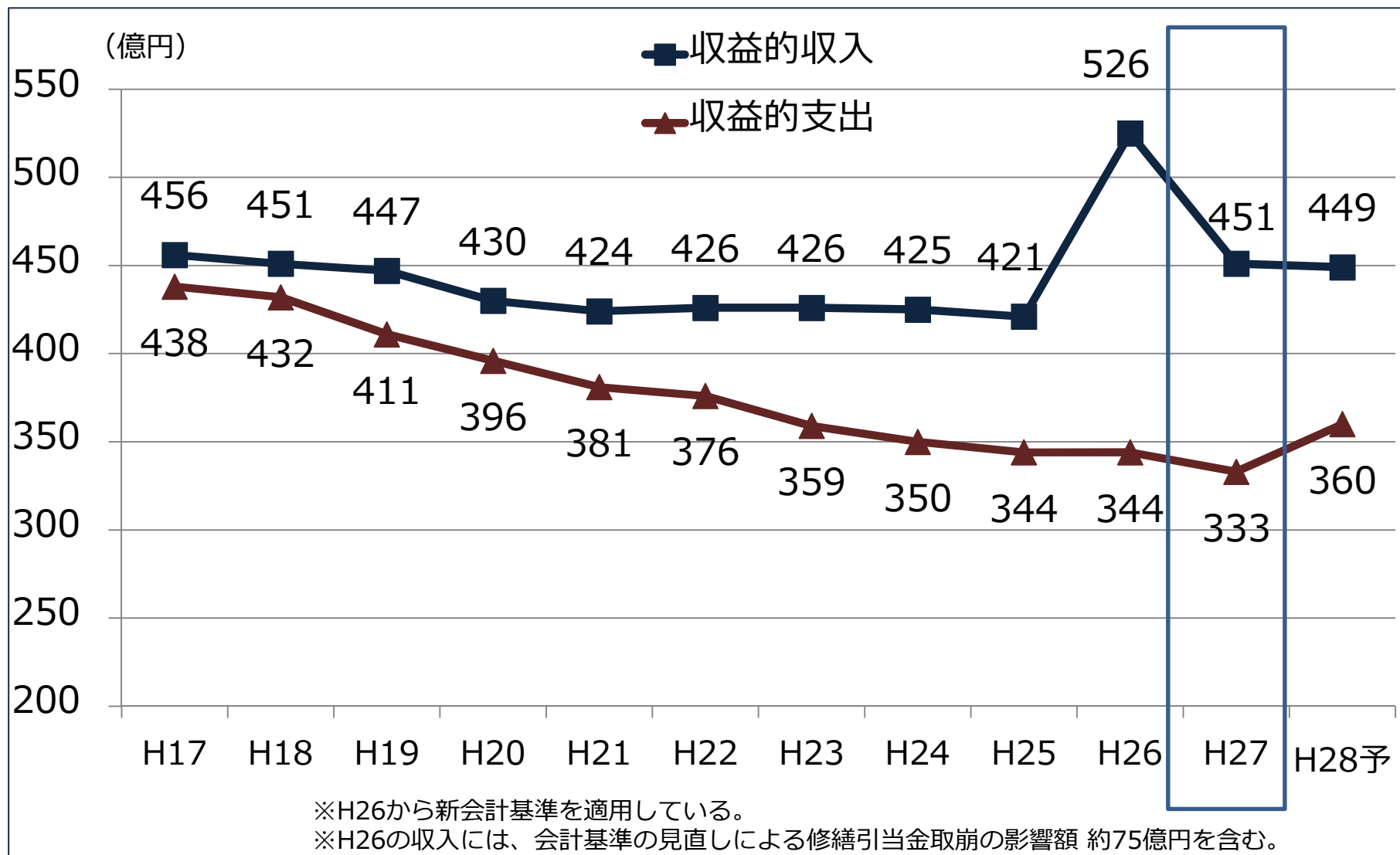
資本的収支（消費税込）

収益的収支差引（純利益）や減価償却費等の内部留保資金で補てん（穴埋め）



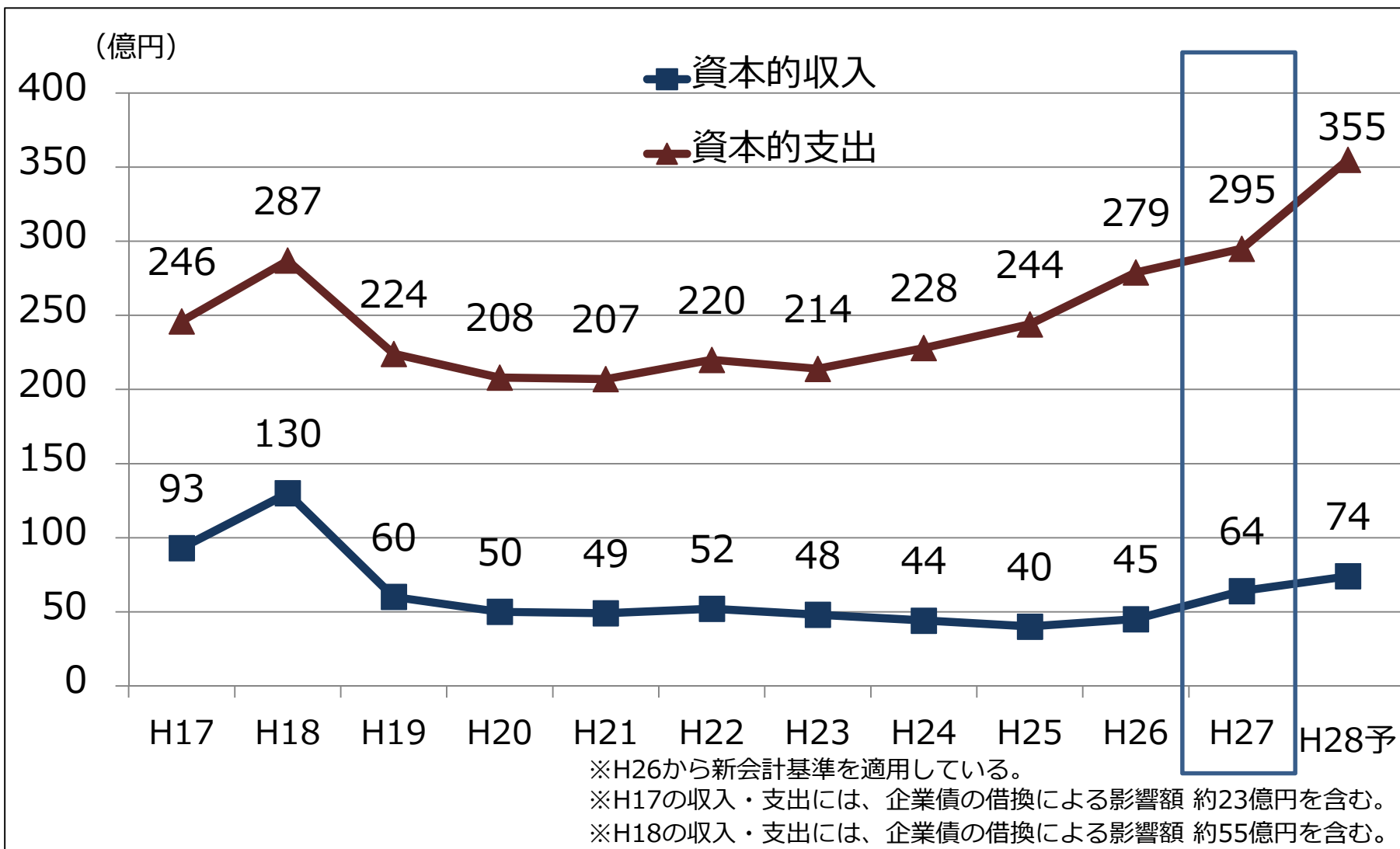
3 平成27年度決算の姿

収益的収支（消費税込）の推移



3 平成27年度決算の姿

資本的収支（消費税込）の推移



4 主要事業

○「札幌水道ビジョン」における4つの目標と実現するための主要事業

【目標1 安全で良質な水の確保】

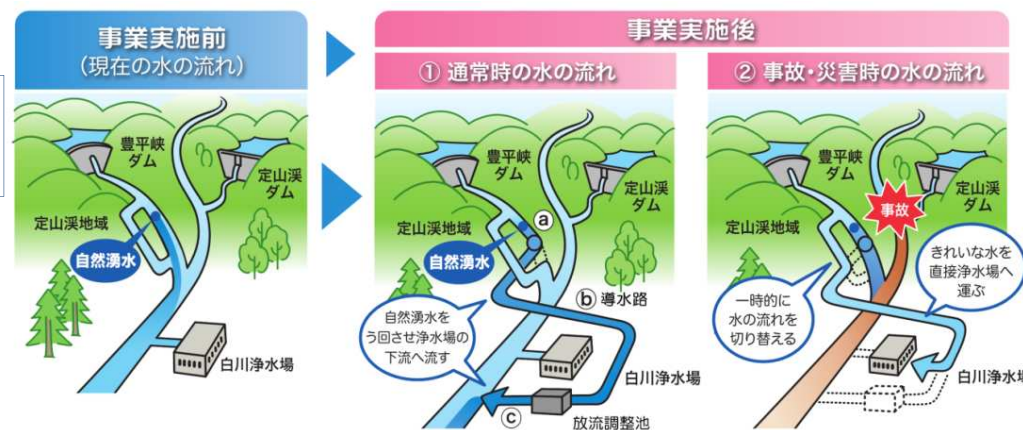
水源の確保や水源の保全・水質管理の強化を図ることにより、これからも安全で良質な水の供給を目指す。

○豊平川水道水源水質保全事業

- ・・・導水路新設工事など
- ・・・事業費 1,150百万円

- ◆事業期間・・・平成17～32年度
- ◆総事業費・・・約187億円

【図表】豊平川水道水源水質保全事業



4 主要事業

【目標2 安定した水の供給】

水道施設の計画的・効率的な整備・維持管理を進める一方、災害に強い水道システムを構築することにより、安定給水の堅持を目指す。

○配水管更新事業

- ・・・配水管更新計画に基づき
約50.2kmを更新
- ・・・事業費 4,188百万円

○配水幹線連続耐震化事業

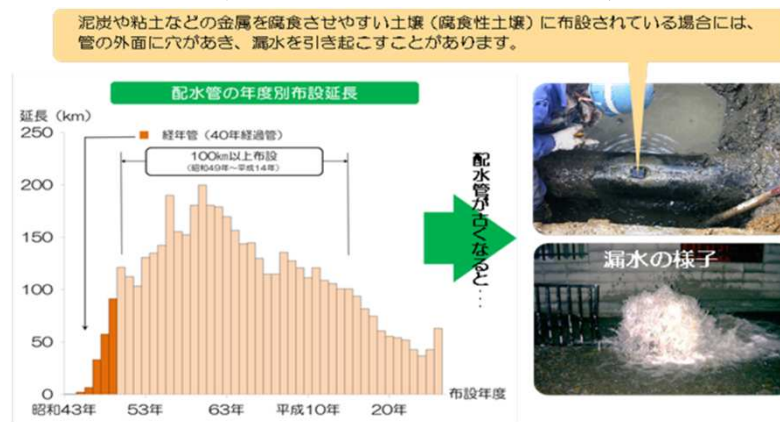
- ・・・平岸第1、北栄、北、下手稻通、
西13丁目、拓北
- ・・・事業費 2,961百万円

○白川第3送水管新設事業

- ・・・山岳部のシールド工事など
- ・・・事業費 2,220百万円

- ◆事業期間・・・平成15～30年度
- ◆総事業費・・・約256億円

【図表】配水管の年度別布設延長



【図表】送水管布設位置図



4 主要事業

【目標3 利用者に満足される水道】

利用者との双方向のコミュニケーションを図りながら、利用者ニーズに対応したサービスの提供を図り、利用者に満足され、信頼される水道を目指す。

【写真】広報活動の様子

○広報・広聴活動の充実

- ・・・水道記念館展示物更新の設計など
- ・・・事業費 19百万円



【目標4 健全経営のもと自律した水道】

効率的な事業運営や健全財政を堅持していくほか、時代の変化に柔軟に対応できる活力ある人材・組織づくりや環境に配慮した事業運営を目指す。

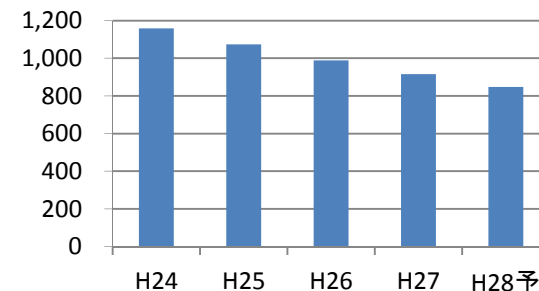
○札幌水道を支える人材の育成

- ・・・水道技術研修、映像教材作成など
- ・・・事業費 10百万円

○財務基盤の強化

- ・・・企業債の借り入れを抑制することにより、企業債残高の縮減を図った。

【表】企業債残高の推移（単位：億円）



5 経営課題

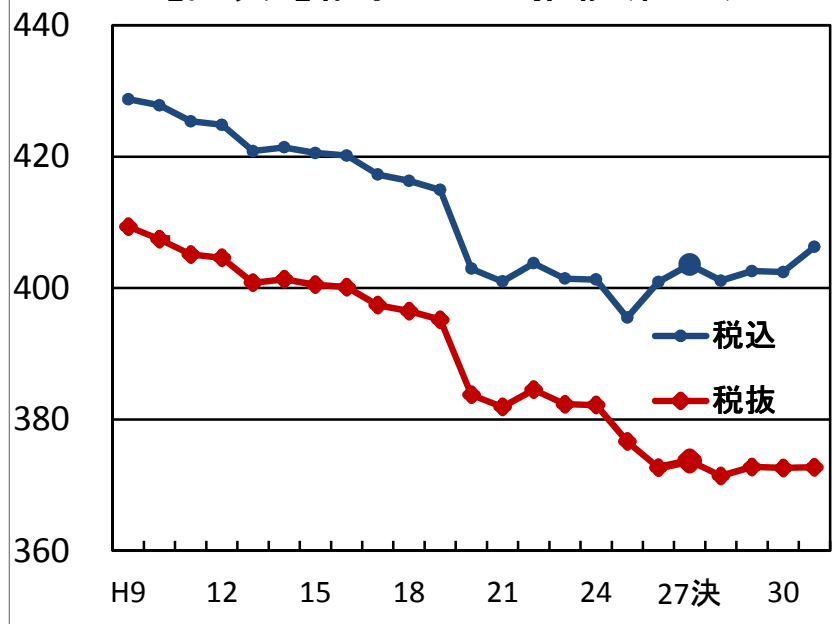
○図表1のとおり、収入の大部分を占める給水収益が、今後、人口が減少に転じることもあり、減少傾向が継続すると見込まれている。

○図表2のとおり、施設の経年劣化に伴う大規模更新や耐震化事業の実施により建設改良費は200億円前後の高い水準で推移することが見込まれる。

厳しい経営環境
のなかで

施設規模の見直しや延命化などの工夫により支出を抑え、健全財政の維持と更新財源の確保の両立を図ることで、安全安定給水を維持していく。

【図表1】給水収益の推移(億円)



【図表2】建設改良費の推移(億円)

